

二級ボイラー技士

ボイラー技士とは、工場における熱エネルギー源や、学校、病院、事務所などの建物の給湯、空調などの熱源供給を行うボイラー設備の安全運転を保つために、監視や調整、検査などを行うことができる国家資格です。

特級ボイラー技士、一級ボイラー技士、二級ボイラー技士と分けられていますが、本校では二級ボイラー技士を受験できます。二級ボイラー技士は、伝熱面積の合計が 25m²未満のボイラー取扱作業主任者につくことができます。

受験資格

本校で受験資格を得るためには、**ボイラー実技講習を修了しなければなりません**。日程は3日間で、講習内容は以下のとおりです。

- 点火 — 1時間
- 燃焼の調整 — 7時間
- 附属設備及び附属品の取扱い — 6時間
- 水処理及び吹出し — 1時間
- 点検及び異常時の処理 — 5時間

この講習は二級ボイラー技士免許試験の受験資格を得るための講習であり、[ボイラー取扱技能講習](#)のように、**講習を受けただけでボイラーを扱うことができるわけではない**ので注意してください。

試験内容

4つの科目に分かれていて、試験時間は3時間です。

- ボイラーの構造に関する知識 — 10問 (100点)
- ボイラーの取扱いに関する知識 — 10問 (100点)
- 燃料及び燃焼に関する知識 — 10問 (100点)
- 関係法令 — 10問 (100点)

試験日程

講習が8月、試験が1月

検定料 (テキスト代)

8,300円 (講習は11,500円)

平成27年度の資格取得状況

その他

ジュニアマイスターにおいて、二級ボイラー技士は7点が加算されます。